



平成 23 年 1 月 26 日

伊豆市市議会議長 杉山羌央 様

### 小学校再編計画についての嘆願書

小学校の再編計画につきましては、旧天城湯ヶ島地区においては、平成24年4月から湯ヶ島小学校・月ヶ瀬小学校・狩野小学校を廃止し、1校に再編するとのことですが、再編については、色々議論されているところでありますが、各学区の一般市民に対しては、伊豆市教育委員会がそれぞれの地区を対象に各2日間の説明会を行っただけです。しかも説明された内容は、未決定であいまいなものが多く、色々な憶測が飛び交い、かえって市民は心配と不安が増すばかりです。3校を1校にしなければならない事由や、既存の学校を利用しなければならない理由、またなぜ24年3月までなのか等こと細かく検討した事柄について、納得できるご説明いただきたい。

教育は、地域社会にとって最も重要・かつ重大な事柄です。

学校教育といえども、単独で成り立つものではありません。常に地域社会と密接に係わり合い、そして変化していく事をご承知の通りです。

いまの社会は、私たち先祖から引き継いだものではありません。未来の子供たちから預かっている社会です。私たちは未来の子供たちに、よりよい環境でお返しする義務があります。そのために、伊豆市は十分な調査や要望を考慮し、24年4月にこだわることなく、地域住民や、保護者が納得できるような立派な再編計画を立案するよう要望したいと思います。また、万一再編成により廃校となる地域に対しては、児童の通学等の安全や財政的支援はもちろんのこと、地域社会へ及ぼすデメリットを最小限にとどめるための、廃校の利用方法等について地域の活性化対策のご検討いただくことも併せてお願い申し上げ、ここに地域住民の署名を添えて「従来の決定事項(24年3月までに3校を1校にし、既存の建物を使う)にこだわることなく、地域住民が納得できる再編計画を立案するよう」嘆願申し上げます。